

『東カリマンタン州での化学産業の振興に向けた廃棄物発電インフラ開発プロジェクト』

《現地視察会の開催について》

ー化学品メーカーならびに廃棄物発電事業者のインドネシアでのビジネス機会のご案内ー

主催：インドネシア投資省 (BKPM)

わたくし、JICA 専門家・投資促進政策アドバイザーとしてインドネシア投資省に派遣されております天谷浩之と申します。インドネシア東カリマンタン州でのクロールアルカリプロセス技術を用いた苛性ソーダおよび塩化水素の生産ならびにその電力源としての廃棄物発電インフラ開発に関する投資機会と本プロジェクト現地視察会の開催についてご案内させていただきます。

インドネシアでは東カリマンタン州への 2045 年までの首都移転(新首都ヌサンタラ/IKN)に向け5段階のフェーズにもとづく都市開発に取り組んでおります。IKN は政府機能の移転だけでなく経済活動の移転も重視しており、Economic Superhub の実現に向け下記6つの経済クラスターの開発を掲げています。

- (1)低炭素エネルギー (2)再生可能エネルギーによる次世代産業 (3)統合医療
(4)サステナブル農業 (5)エコツーリズム (6)先端化学関連

この中で(6)のクラスター開発において、広く産業界で使用される苛性ソーダおよび塩化水素をバリクパパン湾の海水から生産するための化学産業の振興が課題となっています。

また、2060年までのカーボンニュートラル(CN)実現を表明し、バイオマス発電を含めた電源の脱炭素化の実現を目指しているインドネシア政府は上記(1)、(2)の開発方針の一環として、本化学産業の電力源に廃棄物発電の利用を掲げ、同発電インフラの開発に取り組もうとしております。

同課題解決に向けた取り組みとしてインドネシア政府は、東カリマンタン州西バリクパパン市(IKNから南に約50km)での『化学産業の振興に向けた廃棄物発電インフラ開発プロジェクト』を構想し、投資省が窓口となって日本をはじめ広く外国からの投資を呼びかけ、外資の協力を得ながら脱炭素化を通じた化学産業の振興を図ろうとしております。

《現地視察会の開催》

そこで投資省ではこのたび、本プロジェクトにご関心をお持ちの日本企業さまを対象に下記要領により現地視察会を開催することといたしました。大変貴重な機会かと存じますので、化学品メーカーやサプライヤー、廃棄物発電事業者や関連機器、設備メーカーなど、本プロジェクトに多少なりともご関心をお持ちの企業さまにおかれましては是非ともご参加いただければ幸いです。

つきましては、下記プロジェクト概要及び視察会スケジュールをご参照のうえ、参加を希望される企業さまにおかれましては9月13日までにお申し込みいただきたく存じます。

本視察会に参加されることでインドネシア政府から投資の確約を求められることは一切ございませんので、インドネシアでの新たなビジネス機会の発掘に向けたFS活動の一環としてご参加いただければ幸いです。

お申し込み企業さまには追って視察会の詳細スケジュールおよび日本または他国からインドネシアに入国される際に必要となる VISA についてのご案内をお送りいたします。

なお、お申し込みに際しまして、国際線（日本や他国⇄ジャカルタ）・国内線（ジャカルタ⇄バリクパパン）航空券、宿泊施設、空港送迎、入国用 VISA の当方での代行手配ご希望の有無につきまして参加申込票にてお知らせいただきたく存じます。手配を希望される参加企業さまへは当方が委託する当地旅行代理店から追ってご連絡させていただきます。代行手配をさせていただく場合は同代理店より所定の手数料をご請求させていただきます。

『プロジェクトの概要』

《プロジェクト名》

Renewable Energy Infrastructure (Waste) for The Chemical Industry

《プロジェクトの目的》

脱炭素化（廃棄物発電）を通じた化学産業の振興を図ること

《プロジェクトサイト》

インドネシア東カリマンタン州西バリクパパン市

Kariangau Village, West Balikpapan District, Balikpapan City

《本プロジェクトの詳細》

Product1: Electricity Production/ 16MW

Product2: NaOH(水酸化ナトリウム)/48,312 tons/年

Product3: HCL（塩化水素） /37,224 tons/年

税制面のインセンティブ、プロジェクトサイト、インフラ状況、投資価値分析を含めインドネシア政府が実施した本プロジェクトの調査情報が下記ウェブサイトに記されておりますのでご一読いただけましたら幸いです。

<https://regionalinvestment.bkpm.go.id/pir/pejuang-investasi/detail/?id=1301>

『現地視察会の実施概要』

下記視察プログラムは現時点の予定で今後内容に変更が生じる可能性がありますこと予めご承知おきください。

日程：2024年9月24日（火）～9月27日（金）

行程：9月23日（月）参加企業のジャカルタご到着（日本や他国からご参加の方）

9月24日（火）会場：投資省が参加者に無償提供するジャカルタ市内ホテル内の会議室（予定：AYANA MIDPLAZA HOTEL）

（予定：08:30-16:30）

- ・オリエンテーション（視察行程の説明、参加企業の自己紹介等）
- ・JICA等、日本側公的機関の支援スキームの紹介
（政府機関担当者による説明）
- ・本プロジェクト構想の背景について
- ・本プロジェクトの詳細と税制インセンティブ、投資申請手順等

- ・東カリマンタン州における廃棄物の収集、処理状況について
- ・インドネシアの再生エネルギー政策について
- ・本プロジェクトの市場機会（インドネシア政府による FS 調査の報告）
- ・廃棄物発電インフラ開発分野において日本企業への協力が可能なインドネシア企業の紹介と両国企業間のビジネス交流

9月25日（水）、26日（木）プロジェクトサイト視察

（予定：両日ともに午前～夕方）

- ・早朝、投資省が参加者に無償提供するジャカルタ市内のホテル出発
→スカルノハッタ空港へ移動（借上げバス）
- ・スカルノハッタ空港 8:35 発/ガルーダインドネシア航空(GA564)
バリクパパン空港 11:50 着

（現地政府機関担当者）

- ・本プロジェクトについての説明、本プロジェクト関係機関の紹介
- ・各プロジェクトサイトおよび関係施設の視察
事業サイト、インフラ施設（電気、ガス、水、通信、下水処理施設）、
廃棄物集積場所、バリクパパン湾（取水源）
- ・プロジェクト関係機関、廃棄物収集業者の作業場、輸出入の港湾施設
- ・東カリマンタン州内の生活環境の視察（警察、病院、教育機関等）

9月27日（金）

- ・バリクパパン空港 10:00 発/ガルーダインドネシア航空(GA563)
- ・スカルノハッタ空港 11:10 着、上記のとおり投資省が参加者に無償提供するジャカルタ市内ホテル（予定：Ayana MidPlaza Hotel）へ送迎
着後解散、海外からご参加の方はご自身で空港へ

【※新首都ヌサンタラの視察は原則実施いたしません】

現在、新首都ヌサンタラを所管する新首都庁および公共事業住宅省では、同ヌサンタラへの政府関係者以外の入域について1日あたり10人且つ曜日指定の規制を行っています。9月以降この規制が緩和されるか否か現時点では判断できないため本視察会においては原則新首都ヌサンタラの視察は実施しないことといたします。来月以降、同規制が緩和され本視察団の受け入れが認められる状況になった場合はその時点で視察プログラムに組み入れ、新首都ヌサンタラの開発状況の視察を行いたいと考えておりますが、現時点では新首都ヌサンタラの視察が実施されないことを前提に本視察会への参加要否をご判断いただきたく存じます。

【参加経費】参加企業には下記の経費のご負担をお願いします。

- ・航空券代：（国際線）日本⇄ジャカルタ（日本や他国からご参加の方）
（国内線）ジャカルタ⇄バリクパパン
- ・空港送迎代（必要な場合）：スカルノハッタ空港（ジャカルタ）→宿泊ホテル
- ・宿泊代：インドネシア滞在中の宿泊代（ジャカルタ、バリクパパン）

※ジャカルタについては投資省が23日月曜、24日火曜2日間の宿泊ホテルを無償提供いたしますので、同ホテルの利用を希望される場合はジャカルタでの宿泊代は不要です。(予定：AYANA MIDPLAZA HOTEL)

- ・その他：インドネシア入国 VISA 代、渡航に関わる保険、インドネシア滞在中の飲食代、その他個別行動に伴う諸経費
(JICA 負担経費) 下記経費は JICA が負担します
- ・ジャカルタ、プロジェクトサイトでの会議室借料
- ・視察時の送迎車両借上代 (参加者のジャカルタ到着時、出発時の空港ホテル間の送迎を除きます)
- ・通訳者備上代 (日本語⇄インドネシア語)

『使用言語』：日本語とインドネシア語の逐次通訳 (一部同時通訳)

『お申込み』

本視察会への参加を希望される方は、次ページの参加申込票に所定事項をご記載のうえ9月13日までにBKPM アドバイザー・天谷宛メールでお申し込みください。

メール受信後二日以内に受信確認の返信を差し上げます。期限までに受信確認メールが送達されない場合は誠に恐れ入りますが天谷宛お電話にて受付状況をお問い合わせくださいますようお願いいたします。

(お申し込み先) 下記2名宛にメールにてお申し込みください

インドネシア投資省投資促進政策アドバイザー 天谷浩之 (あまや ひろゆき)

E-mail: amaya.jica.bkpm@gmail.com 携帯電話：+62-811-1952-7174

CC に下記担当者を含めてください

JICA インドネシア事務所民間連携事業担当 平松洋司

E-mail: Hiramatsu.Yoji@jica.go.jp 携帯電話：+62-811-904-8678

プロジェクトサイトの場所



東カリマンタン州での化学産業の振興に向けた廃棄物発電インフラ開発プロジェクト
 現地視察会 参加申込票

1)御社名	
2)所在地 (日本や他国からご参加の場合は当該所在地、インドネシア現地法人からご参加の場合は当該法人の所在地)	
3)参加者名 (複数でご参加の場合はそれぞれ本票をお送りくださいますようお願いいたします)	
4)所属部署	
5)お役職	
6)メールアドレス	
7)携帯電話番号 (インドネシアで通話可能な番号)	
『航空券、宿泊施設等の代行手配のご希望有無について』	
ご手配物	代行手配ご希望の有無 (どちらかに○印)
8)インドネシア入国 VISA (本視察会への参加のみを目的に入国される場合、B2-Business(Visa on arrival)Visa を取得されることを推奨します。(注) 本 Visa で自社工場等内での工程管理等の業務はできません。	希望有り ・ 希望無し ご希望有無に係わらず委託旅行代理店より VISA についてのご案内を差し上げます
9)国際航空券 (日本または他国⇄ジャカルタ) ※原則、参加者ご自身でのご手配をお願いします	希望有り ・ 希望無し
10)ジャカルタでの宿泊ホテル (インドネシア投資省が 23 日、24 日、二泊分の宿泊ホテルを無償提供いたします (AYANA MIDPLAZA を予定)。 決して強制ではございませんが、24 日の終日会合は同ホテル内で実施し、25	1.投資省が提供するホテルを希望する 2.投資省が提供するホテル以外のホテルの手配を希望する (自己負担) 3.ホテル手配を希望しない (自己手配)

<p>日は早朝に同ホテルを出発し借上バスで空港に向かいますので同ホテルを利用された方が便利かと思えます。同省提供ホテルの利用を希望される方は1に○を付けてください（ジャカルタ在住者も利用可能です）。利用される方は月、火2泊のご利用をお願いします。それ以外の方は2または3に○を付けてください。</p>	
<p>11)空港送迎（ジャカルタ到着時のホテルまでの送迎）希望者にはご宿泊ホテルの送迎サービスを代行手配いたします</p>	<p>希望有り ・ 希望無し</p>
<p>12)国内航空券（ジャカルタ⇄バリクパパン） 予定フライト 9/25:スカルノハッタ空港 8:35 発/ガルーダインドネシア航空 GA564 9/27:バリクパパン空港 10:00 発 /ガルーダインドネシア航空 GA563 ※安全性と座席の確保、視察会運営の効率性の観点から原則当方で代行手配をさせていただきたく、なるべく“希望有り”のご選択をお願いいたします。航空券のお渡し方法やご精算方法につきまして追って委託旅行代理店よりご案内させていただきます。 ※ご都合によりご自身での手配を希望される場合は“希望無し”をご選択ください。</p>	<p>希望有り ・ 希望無し</p>
<p>13)バリクパパンでの宿泊ホテル（自己負担） 推奨ホテル：Novotel Balikpapan https://all.accor.com/hotel/6445/index.id.shtml ※視察会運営の効率性の観点から原則当方で代行手配をさせていただきたく、なるべく“希望有り”のご選択をお願いいたします。宿泊予約票のお渡し方法やご精算方法につきまして追って委託旅行代理店よりご案内させていただきます。 ※ご都合によりご自身での手配を希望される場合は“希望無し”をご選択ください。</p>	<p>希望有り ・ 希望無し</p>

※記載いただいた内容は本視察会以外の目的には使用いたしません。

(航空券をご自身で手配される際のご注意)

本視察会実施前に他国勢を含む他の企業が投資を表明し、インドネシア政府から追加のプロジェクトサイトの提供が無く本プロジェクトの公募自体が終了或いは一時停止した場合はその時点で本視察会の催行をキャンセルさせていただき、実施予定日二週間前までにその旨ご連絡差し上げます。つきましては、航空券をご自身で手配なされる方におかれましては払い戻し可能なチケットをご手配いただきますようお願いいたします。

以上